

平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月15日

上場会社名 株式会社 マミーマート
 コード番号 9823 URL <http://www.mammymart.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月15日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 岩崎 裕文
 (氏名) 小野原 秀次
 TEL 048-654-2514
 配当支払開始予定日 平成24年6月11日

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	40,432	△7.7	1,308	4.8	1,490	2.7	705	0.8
23年9月期第2四半期	43,782	6.3	1,248	45.1	1,451	41.5	699	40.5

(注) 包括利益 24年9月期第2四半期 714百万円 (△0.1%) 23年9月期第2四半期 715百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	65.33	—
23年9月期第2四半期	64.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第2四半期	36,570	18,913	51.7
23年9月期	32,292	18,291	56.6

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 18,899百万円 23年9月期 18,278百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	8.50	—	8.50	17.00
24年9月期	—	8.50	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,900	△2.4	1,900	3.2	2,200	△2.7	1,150	△4.2	106.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期2Q	10,796,793 株	23年9月期	10,796,793 株
② 期末自己株式数	24年9月期2Q	1,374 株	23年9月期	1,374 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期2Q	10,795,419 株	23年9月期2Q	10,795,455 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は完了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要に加え、円高修正や欧州債務不安の一服感から景気回復の動きもみられたものの、原油価格の上昇や電力需給のひっ迫、欧州債務不安の再燃や東アジアの経済成長の鈍化等の懸念材料により、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

スーパーマーケット業界におきましては、「税と社会保障制度の一体改革」に伴う増税と経済の空洞化進展に伴う国内経済の停滞等の将来不安を背景とした消費者の生活防衛意識に根差す節約志向が一層強まりました。また、価格・品質・品揃えに加え、放射能等による食の安心安全への関心の高まりから、さらなる消費者ニーズの多様化、高度化への対応が求められ、経営環境はますます厳しくなっております。

このような情勢の中、当社グループ（当社及び連結子会社）は、「ディスティネーション・ストアの構築」を営業スローガンとして、これまで以上にお客様の立場に立った商品政策や売場展開、お客様に親しみと信頼を得られる接客に努め、お客様の視点でより魅力ある店舗づくりを強力に推進してまいりました。

営業面におきましては、徹底したコストダウンによる低価格戦略の推進、顧客ニーズに対応した良質で割安感のある品揃えを実現するためディスティネーション商品（お客様がその商品を目指してご来店いただける商品）の開発等を実施してまいりました。

環境活動におきましては、電気使用量の見える化システムによる厳格な電気使用量管理の実施、レジ袋のリサイクル運動とマミークラブ会員へのエコポイントの付与、使用済みトレーの有償回収などを継続して実施してまいりました。

社会貢献活動におきましては、東日本大震災から1年を経過しましたが、被災された地域の子供達が、笑顔で元気に成長できるようにとの想いから、「想いつながる 絆 義援金」活動を展開いたしました。3月より、当社のプライベートブランド商品及び一部生鮮商品の売上高1%を、被災地域の子供達への支援金として寄付することといたしました。

設備投資としましては、㈱マミーマートにおいて、平成23年10月2店舗、11月3店舗の改装を実施いたしました。また、マミーサービス㈱が行っている温浴事業において、むさしの湯（さいたま市大宮区）に炭酸泉を導入し、集客力アップを図っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結営業成績は、売上高40,432百万円（前年同四半期比7.7%減）、営業利益1,308百万円（同4.8%増）、経常利益1,490百万円（同2.7%増）、四半期純利益705百万円（同0.8%増）となりました。

セグメント別の営業の状況は以下のとおりです。

[スーパーマーケット事業]

当第2四半期連結累計期間は、売上高40,081百万円（前年同期比7.8%減）、営業利益1,293百万円（同3.6%増）となりました。

[その他の事業（温浴事業）]

売上高350百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益15百万円（前年同期△0百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より4,278百万円増加し36,570百万円となりました。これは主に、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関休業日であることに伴い仕入債務の支払いが持ち越されたことにより、留保した現金預金でCPの取得、現先取引を実施したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末より3,655百万円増加し17,656百万円となりました。これは主に、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関休業日であることに伴い仕入債務の支払いが持ち越されたことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より622百万円増加し18,913百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、6,054百万円(前連結会計年度末比3,973百万円の増加)となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により得られた資金は4,875百万円(前年同四半期は2,365百万円の収入)となりました。これは主に、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関休業日であることにより、資金が社内に留保したためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は558百万円(前年同四半期は769百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により支出した資金は343百万円(前年同四半期は1,437百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年11月14日に公表いたしました「平成23年9月期 決算短信」に記載の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（会計の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

（法人税率の変更等による影響）

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」

（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴う税率変更により、当第2四半期連結累計期間において、未払法人税等が108百万円増加し、法人税等は同額増加しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,081	2,255
売掛金	82	57
有価証券	—	2,400
商品	1,590	1,635
貯蔵品	9	13
短期貸付金	30	1,431
繰延税金資産	508	508
その他	861	1,200
流動資産合計	5,164	9,502
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,752	6,452
機械装置及び運搬具（純額）	110	106
土地	8,661	8,661
建設仮勘定	567	865
その他（純額）	941	881
有形固定資産合計	17,032	16,967
無形固定資産	440	402
投資その他の資産		
投資有価証券	240	299
長期貸付金	338	337
差入保証金	6,648	6,645
賃貸不動産（純額）	446	444
繰延税金資産	1,413	1,412
その他	646	636
貸倒引当金	△78	△78
投資その他の資産合計	9,655	9,698
固定資産合計	27,127	27,068
資産合計	32,292	36,570

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,138	7,617
短期借入金	100	150
1年内返済予定の長期借入金	958	1,013
未払費用	1,413	1,521
未払法人税等	435	795
ポイント引当金	574	589
賞与引当金	399	383
その他	471	469
流動負債合計	8,491	12,540
固定負債		
長期借入金	1,942	1,586
長期預り保証金	1,649	1,613
転貸損失引当金	156	128
退職給付引当金	776	798
役員退職慰労引当金	648	673
資産除去債務	315	295
その他	21	20
固定負債合計	5,509	5,116
負債合計	14,001	17,656
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	2,856	2,856
利益剰余金	12,755	13,368
自己株式	△1	△1
株主資本合計	18,270	18,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	16
その他の包括利益累計額合計	8	16
少数株主持分	12	14
純資産合計	18,291	18,913
負債純資産合計	32,292	36,570

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	43,782	40,432
売上原価	33,289	30,518
売上総利益	10,493	9,914
営業収入	616	581
営業総利益	11,110	10,495
販売費及び一般管理費	9,861	9,187
営業利益	1,248	1,308
営業外収益		
受取利息	25	24
受取配当金	2	2
受取賃貸料	45	31
受取手数料	33	78
その他	123	64
営業外収益合計	230	201
営業外費用		
支払利息	20	12
その他	7	6
営業外費用合計	27	19
経常利益	1,451	1,490
特別利益		
固定資産売却益	1	—
関係会社株式売却益	116	—
特別利益合計	118	—
特別損失		
固定資産除却損	14	14
減損損失	71	—
投資有価証券評価損	16	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	328	—
特別損失合計	429	14
税金等調整前四半期純利益	1,139	1,475
法人税等合計	438	768
少数株主損益調整前四半期純利益	700	707
少数株主利益	1	1
四半期純利益	699	705

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	700	707
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	14	7
その他の包括利益合計	14	7
四半期包括利益	715	714
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	714	712
少数株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,139	1,475
減価償却費	604	631
減損損失	71	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	33	21
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	26	25
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	△16
受取利息及び受取配当金	△28	△27
支払利息	20	12
関係会社株式売却損益 (△は益)	△116	—
固定資産除却損	14	14
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	328	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△4	24
たな卸資産の増減額 (△は増加)	172	△49
未収入金の増減額 (△は増加)	△34	△305
仕入債務の増減額 (△は減少)	471	3,479
未払費用の増減額 (△は減少)	20	105
その他	△56	△159
小計	2,661	5,233
利息及び配当金の受取額	6	6
利息の支払額	△20	△9
法人税等の支払額	△282	△355
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,365	4,875
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△13	△50
無形固定資産の取得による支出	△17	△29
有形固定資産の取得による支出	△980	△505
有形固定資産の売却による収入	143	—
差入保証金の差入による支出	△38	△260
差入保証金の回収による収入	310	299
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△172	—
その他	△0	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△769	△558
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,350	49
長期借入れによる収入	500	100
長期借入金の返済による支出	△495	△400
配当金の支払額	△91	△91
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,437	△343
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	157	3,973
現金及び現金同等物の期首残高	1,978	2,081
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,135	6,054

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパーマー ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	43,455	327	43,782	—	43,782
セグメント間の内部 売上高または振替高	1	—	1	△1	—
計	43,457	327	43,784	△1	43,782
セグメント利益 または損失(△)	1,248	△0	1,248	—	1,248

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパーマー ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	40,081	350	40,432	—	40,432
セグメント間の内部 売上高または振替高	2	—	2	△2	—
計	40,083	350	40,434	△2	40,432
セグメント利益	1,293	15	1,308	—	1,308

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。